**サービス担当者会議と協議会の活用のまとめ**

受講番号　【　　　　　】　　　受講者氏名　【　　　　　　　　　】

Ⅰ．以下の項目について、サビ児管として業務している受講生はご自身の業務を、支援員等として業務している受講生は自事業所のサビ児管の業務を振り返り、それぞれ該当する項目にチェック✓をしてください（□をクリックすると☑が付きます）。

**１．相談支援専門員、関係機関（他事業所、学校、医療機関等）との連携**

利用者の希望する生活を実現するためには、相談支援専門員をはじめ関係機関との連携が不可欠です。日頃より、相談支援専門員を含めて関係機関との連携を意識して業務を行えていますか。

　　　行えている　・　　　行えていない

**２．サービス担当者会議の活用**

様々な関係機関との具体的な連携の場として、サービス担当者会議が想定されます。利用者の状態や意向の変化を踏まえ、サービス担当者会議を活用して支援を展開することができていますか。

　できている　・　　　できていない

**３．地域におけるインフォーマルな社会資源との連携**

利用者の生活は、福祉・医療・教育等のフォーマルな資源だけで構成されているわけではありません。サビ児管は、必要に応じてインフォーマルな資源（制度に基づくサービス以外）との連携も求められます。利用者の状態や意向を踏まえ、インフォーマルな社会資源との連携を意識して業務を行えていますか。

　行えている　・　　　行えていない

**４．自立支援協議会との関わり**

障がい者支援にかかわる様々な地域の関係者による連携や体制強化の場として、自立支援協議会があります。自事業所の機能や地域における役割を踏まえ、自立支援協議会との関わりを意識して業務を行えていますか。

　行えている　・　　　行えていない　（⇒自地域の協議会の仕組みや取り組みを調べて理解しましょう）

Ⅱ．以下の項目について、それぞれの実践事例（多職種連携・地域連携）を記載してください。

１．利用者のライフサイクルや成長・重度化等、ニーズの変化に応じるために関係機関の協力を得た事例

|  |
| --- |
| （理由や目的、きっかけ等も書き添えてください） |

２．利用者のニーズに応えるために地域（まち）の資源を活用した事例

|  |
| --- |
| （理由や目的、きっかけ等も書き添えてください） |